

1997年福井県で初記録された アライグマの繁殖*

大迫義人¹

カナダ南部からパナマまでを原産地とするアライグマ *Procyon lotor* は、近年、ペットとして輸入された個体の一部が脱柵し、日本各地で野生化している(阿部 1994)。福井県においても、飼育個体の脱柵例があり、また、隣の岐阜県の可児市に生息・繁殖している個体群(日高 1996)の分散があり得るため、早晚、野生化することが予想されていた。この状況の中、1997年、駆除個体として本種のメス成獣と3頭の幼獣が保護されたので報告する。

福井県ペストコントロール協会の横山三男氏には捕獲時の情報を提供していただいた。大野市の木谷実氏には幼獣の世話をしていただいた。また、大阪市天王寺動物園の宮下実博士には成獣の糞の寄生虫検査をしていただいた。記して感謝する。

1997年5月27日、福井県坂井郡金津町東山にある民家(36° 11' 00"N, 136° 17' 30"E, 標高50m)で、住みついていた動物を駆除するために屋根裏に上がったところ、断熱用のグラスウールで作られた本種の巣と計3頭の幼獣が発見された。幼獣が捕獲され、1頭が飼育を希望する市民へ託され、残り2頭が、29日に福井県自然保護センターへ移管された。その2頭は、それぞれ、頭胴長が21.5cm, 23.0cmで、共に体重が545gの、目は開いていたもののまだ視力のないメスであった。そして、30日には、その幼獣の親と思われる、乳首の膨らんだメス成獣がネコ用トラップで捕獲され、同じくセンターへ移管された。

幼獣には人間用の人工ミルクを与え、成獣にはドッグフードを中心に、時にワカサギなどの魚類を与えて飼育した。検便の結果、成獣からは、人畜共通の寄生虫であるアライグマカイチュウ *Baylisascaris procyonis* は検出されなかった(宮下実 私信)。

本種は、帰化種であり、保護でなくその生息地の拡大を防ぐ管理が必要である(日本哺乳類学会 1997)。しかし、心理的に殺すことができず、また、自然保護センターでの長期飼育も困難であった。そこで、幼獣のうち1頭は6月3日に飼育希望者へ託し、もう1頭と成獣は避妊手術が施して、それぞれ8月6日と7月25日に本県の山中に放野した。

これからも本県において本種の分布の拡大が予想されるため、情報を収集し対応を考えておくべきであろう。

* 福井県自然保護センター研究業績 第57号

1. 福井県自然保護センター。〒912-0131 福井県大野市南六呂師169-11-2

引用文献

- 阿部永 (監) . 1994. 日本の哺乳類. 195pp. 東海大学出版会, 東京.
- 福井県. 1982. 福井県の鳥獣. 240pp. 福井県.
- 岐阜県哺乳動物調査研究会. 1984. 岐阜県における哺乳類の生息状況とその環境調査及び環境教育にかかわる研究. 284pp. 岐阜県哺乳動物調査研究会.
- 日高敏隆 (監) . 1996. 日本動物大百科 第2巻 哺乳類 . pp139-140. 平凡社, 東京.
- 東谷薫. 1966. 福井県の哺乳類と鳥類. 福井県の生物 pp.65-76. 福井県教育研究会理科部会.
- 日本哺乳類学会 (編) . 1997. レッドデータ 日本の哺乳類. 279pp. 文一総合出版, 東京.

The first breeding record of the Common Raccoon in Fukui

Yoshito Ohsako¹

A nest and three cubs of Common Raccoons were found on 27 May, and an adult female was captured on 30 May on a garret of the house (36° 11'00"N, 136° 17'30"E, Elev. 50m) in Kanazu Town, Fukui in 1997. Two cubs were kept for the house pet and the other one and one adult released after contraception. The distribution of the species is estimated to expand in future, so the breeding status should be monitored in Fukui.

1. Fukui Nature Conservation Center. Minamirokuroshi 169-11-2, Ono-shi, Fukui 912-01